

リニア新幹線の東百合丘立坑（非常口）工事説明会  
が開催されます。出席して質問や発言をしましょう。

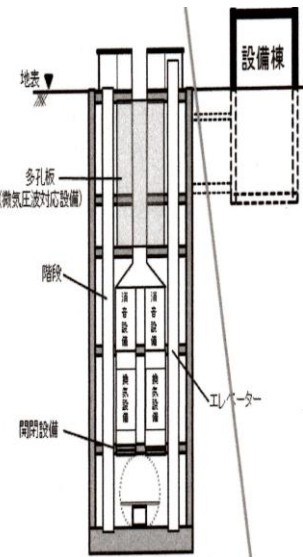
日時：1月14日（土）13:30～  
及び18日（水）18:00～

場所：長沢小学校体育館

## 東百合丘非常口の位置



## 立坑イメージ図



東百合ヶ丘立坑予定地外観（ヨネッテイ王禅寺前から）



現状



完成後のイメージ

J R東海の準備書から

立坑工事のため、この丘は尻手黒川道路平面まで除去される可能性があり、そうなれば丘の北側の住宅は玄関側の足元が切り立った崖に面することになります。

# 工事が始まると、周辺住民にとってこんな心配が・・・

## ■尻手黒川線のヨネッテイ王禅寺前は今でも慢性的交通渋滞。リニアの工事車両増加で更に渋滞の悪化が？

尻手黒川線のヨネッテイ前交差点から汐見台交差点までは、大学や市民施設、スーパー、病院などが立ち並び、今でも慢性的な交通渋滞地域。そこへ1分間に1台もの工事車両が加わったら、交通渋滞は更に深刻に。喘息患者の増加率が川崎市のなかでもトップの麻生区で、大気汚染などの環境悪化が心配。

## ■工事ヤード北側の道路は重要な通勤・通学路。交通の安全は保たれるのか？

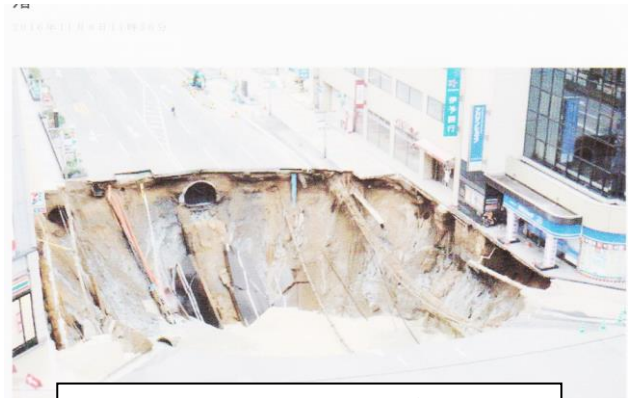
JR東海は「工事車両は通らない」と言うが、工事車両が通らなくても、渋滞を避けたい車両が迂回した場合、通学時など子供の安全は守れるのか？ 北側道路のみならず、周辺道路について、JR東海は周辺住民と工事環境協定を締結する意思はあるか？

## ■東百合ヶ丘の立坑から排出される建設発生土等の量は101万立方メートル（ダンプカー24万台）、処分方法は未だ発表されず、運搬車両の走行ルートも決まっていない。

建設発生土には日本合成ゴム工場が排出した毒性が含まれている可能性がある。土砂の仮置き場をつくった場合、毒性は雨水により周辺に浸出し、風によって周辺に飛散する。

## ■立坑、大深度トンネル掘削による地下水脈、地盤への影響はないのか？

福岡の地下鉄工事では、掘削が原因の大規模な陥没事故が発生しあわや大惨事となるどころだった。リニアの工事で同様な事故が発生する可能性は？ また事故が起きた時の補償は？



福岡地下鉄陥没事故（朝日新聞より）

## ■大深度トンネルの真上の地価が下落しても補償は無いのか？不動産取引では告知の義務も。

宅地建物取引法では、売主は買主に対しすべての関連情報を提供しなければならず、リニアのトンネルが通る真上の不動産価格が下落する不利益を被る可能性がある。

神奈川新聞 12月20日付は、相模原市の住民が、今年2月に購入した住宅の下にリニア新幹線のトンネルができることを10月になって知り、「重要事項説明書などで告知がなかった。知っていたら買わなかった」として不動産仲介業者に賠償を求めて提訴する、と伝えている。

## ■想定外の事態で事業が中止になったら、掘った立坑、トンネルはどうする？

将来、リニアの事業が失敗したり、採算がとれなくなったりしたらどうするのか？ その可能性はないとは言えない。その場合将来の世代に巨大な負の財産を残すことになる。

## ■リニア事業は住民にとってどんなメリットがあるのか？

JRの事業説明会で、川崎市当局は「川崎市にとってリニアのメリットは何か？」

と質問したが、JR東海からは未だに具体的な回答は無い。市議会は、住民からの請願・陳情を幾度も採択しているが、JR東海には市民の要望に応える姿勢が見られない。